

## 9. 放射線防護資機材、物資、 燃料の備蓄・供給体制

# PAZ内及び予防避難エリア防護措置に備えた放射線防護資機材の備蓄体制

- 愛媛県は、伊方町<sup>いかたちょう</sup>のほか、PAZ内の住民搬送を担うバス会社の運転手、医療機関・社会福祉施設・教育機関の施設管理者等向けの個人線量計等の放射線防護資機材の備蓄を実施中。
- 緊急時には、放射線防護資機材を運転手、避難誘導者に配布し、万々に備え避難搬送時に携帯。
- 平時にはこれらの使用方法に関する訓練・研修を定期的実施。

- バス会社  
運転手向けに備蓄を実施中
- 医療機関・社会福祉施設  
施設管理者、避難誘導者向けに備蓄を実施中
- 小中高等学校・保育所  
施設管理者、避難誘導者向けに備蓄を実施中
- 放射線防護施設  
施設管理者、避難誘導者向けに備蓄を実施中



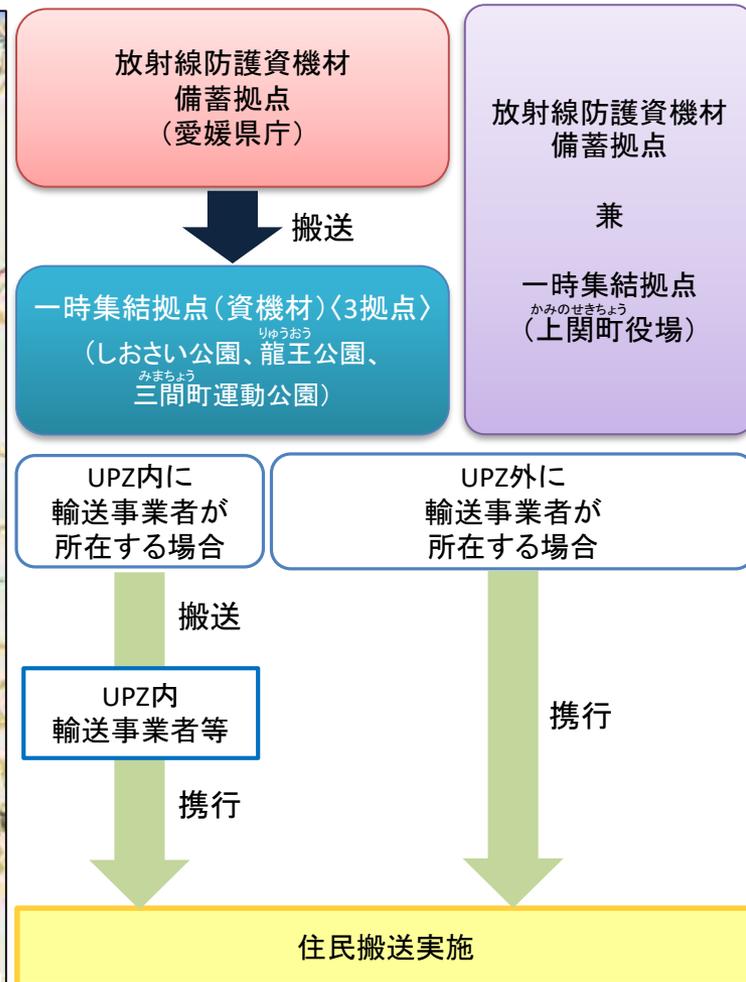
備蓄拠点	対象施設数
伊方町役場	3
医療機関・社会福祉施設	7
小中高等学校・保育所	16
放射線防護施設(※)	3
合計	29

(C)2015ZENRIN(Z05E-第175号)

(※) 学校、医療機関、社会福祉施設を除く

# UPZ内防護措置に備えた放射線防護資機材の備蓄・供給体制

- 愛媛県では、UPZ内一時移転等において住民搬送を担う輸送事業者等には、緊急時に設置する一時集結拠点で原則放射線防護資機材を配布（UPZ内の輸送事業者等には個別に配布）。
- 山口県では、放射線防護資機材備蓄拠点である上関町役場<sup>かみのせきちょう</sup>において配布を実施。
- 一時集結拠点では、放射線防護資機材の使用方法や、それまでのモニタリング結果等により、避難搬送による被ばく線量が積算1mSvを十分に下回ることをあらかじめ確認。



- 原子力事業者は、放射線防護資機材を各原子力事業者で支援をするため、「原子力災害発生時における事業者間協力協定」を締結。
- 原子力災害発災後の避難・一時移転等において、放射線防護資機材等が不足する場合、原子力事業者は、保有する資源(要員・資機材等)を最大限供給し支援する。

## 原子力災害発生時における事業者間協力協定（平成26年10月10日）

### 【協定事業者】

北海道電力、東北電力、東京電力、中部電力、北陸電力、関西電力、中国電力、四国電力、九州電力、日本原子力発電、電源開発、日本原燃

### 【目的】

原子力災害時における原子力事業者間協力の円滑な実施を図り、原子力災害の拡大防止および早期復旧の一翼を担うことを目的とする。

### 【協力活動の範囲】

原子力災害時の周辺地域の環境放射線モニタリングおよび周辺区域の汚染検査・汚染除去に関する事項について、協力要員の派遣・資機材の貸与その他の措置 等

## 主な備蓄資機材

資機材	数量
サーベイメータ(GM管)	360台
個人線量計	1,000個
全面マスク	1,000個
タイベックスーツ	30,000着



サーベイメータ(GM管)



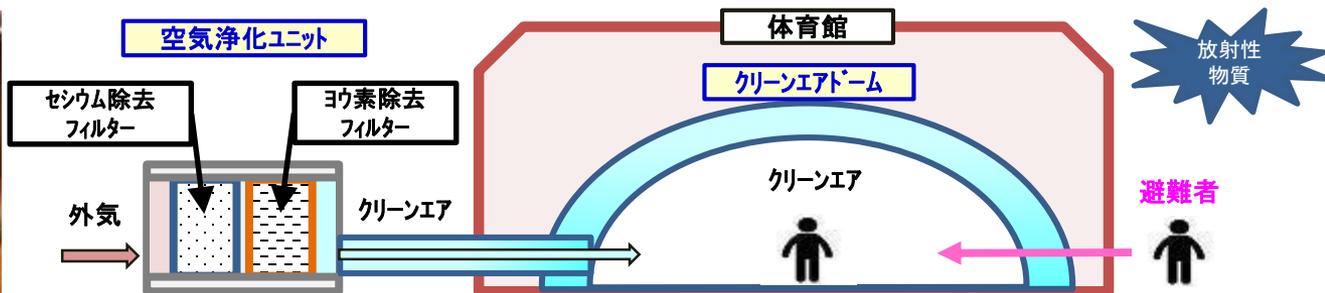
全面マスク



タイベックスーツ

# 原子力事業者によるクリーンアドームの配備

- 四国電力では、原子力災害時における避難計画の実効性をより一層高めるために、予防避難エリアの一時集結所(3箇所)に、放射性物質防護機能を備えたクリーンアドームを配備。
- 原子力災害時の設営・運用、定期的な保守管理や設営訓練等は、四国電力(グループ会社を含む)が実施。



配備箇所	基数	収容人数
瀬戸総合体育館	3基	約250人
三崎総合体育館	3基	約250人
三崎小中学校体育館	2基	約100人
合計	8基	約600人

# 愛媛県及び山口県の関係市町における行政備蓄

- 緊急時に備え、県及び関係市町では、食料及び生活物資等の備蓄を実施。万が一不足等が生じる事態となった場合、県が調整を行い、それぞれの県内の全市町村より備蓄した食料及び生活物資等を融通する体制を整備。

## 避難元市町の生活物資の備蓄状況

備蓄物資種類	愛媛県関係市町								山口県関係市町	
	愛媛県	いかたちょう 伊方町	やわたはまし 八幡浜市	おおずし 大洲市	せいよし 西予市	うわじまし 宇和島市	いよし 伊予市	うちこちよう 内子町	山口県	かみのせきちよう 上関町
乾パン (缶)	—	10,800	2,232	3,000	—	1,632	1,584	220	—	—
アルファ米等 (食)	8,000	21,000	17,096	9,000	7,050	29,652	30,980	2,100	—	300
飲料水 (リットル)	—	21,250	9,198	12,000	13,308	123,463	46,716	3,100	—	300
毛布 (枚)	5,330	2,000	1,000	1,198	13,278	9,278	600	600	4,691	40
簡易トイレ (セット)	50	50	130	480	362	436	42	12	—	600※3

※1 上記物資備蓄数は概数。また、上記の他に、関係市町では常備薬、炊き出し用具等、避難生活に必要な物資等を準備している。

※2 上記の数量は、現段階で地方公共団体が把握している暫定値

※3 上関町が備蓄する簡易トイレは、使い捨てタイプ。